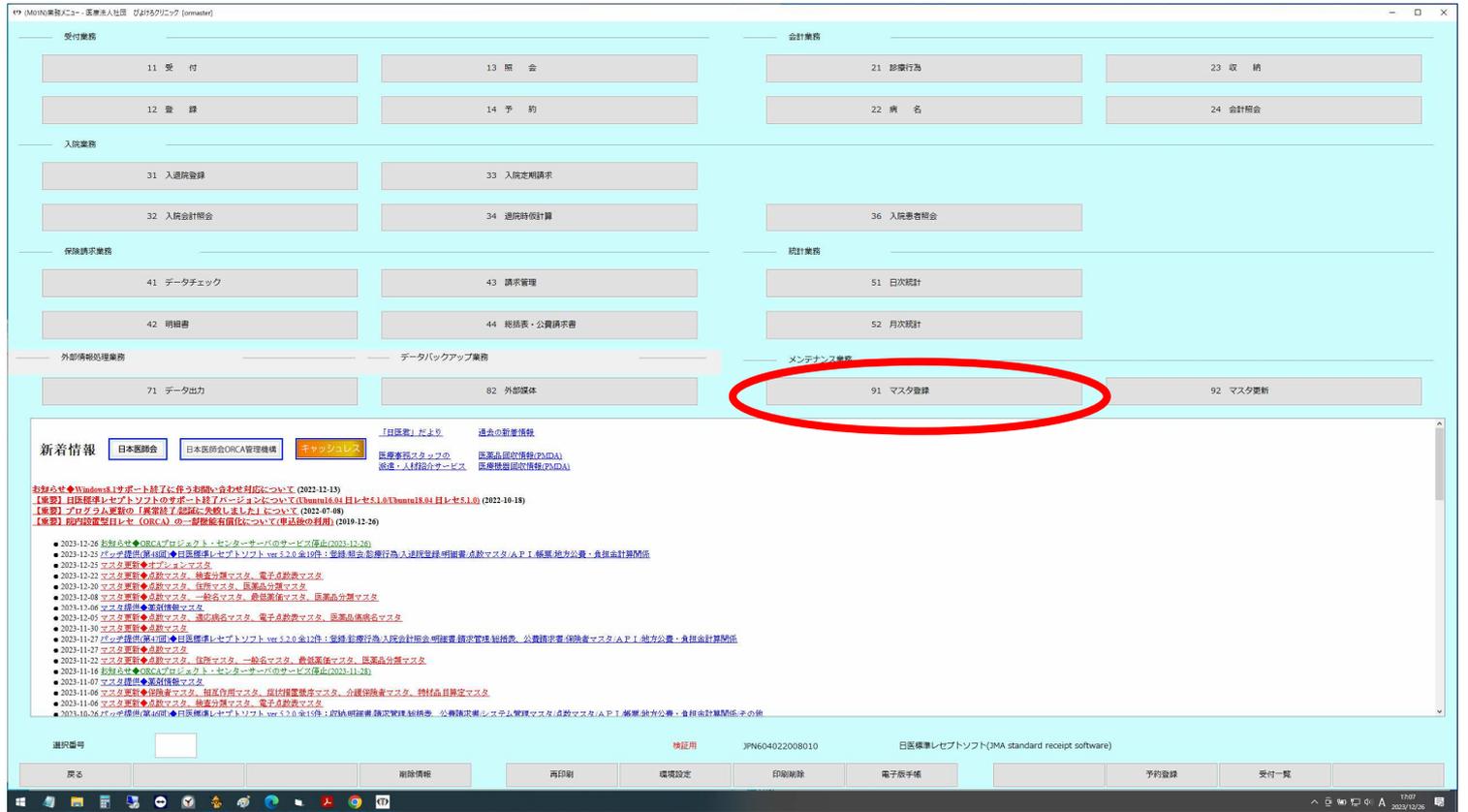
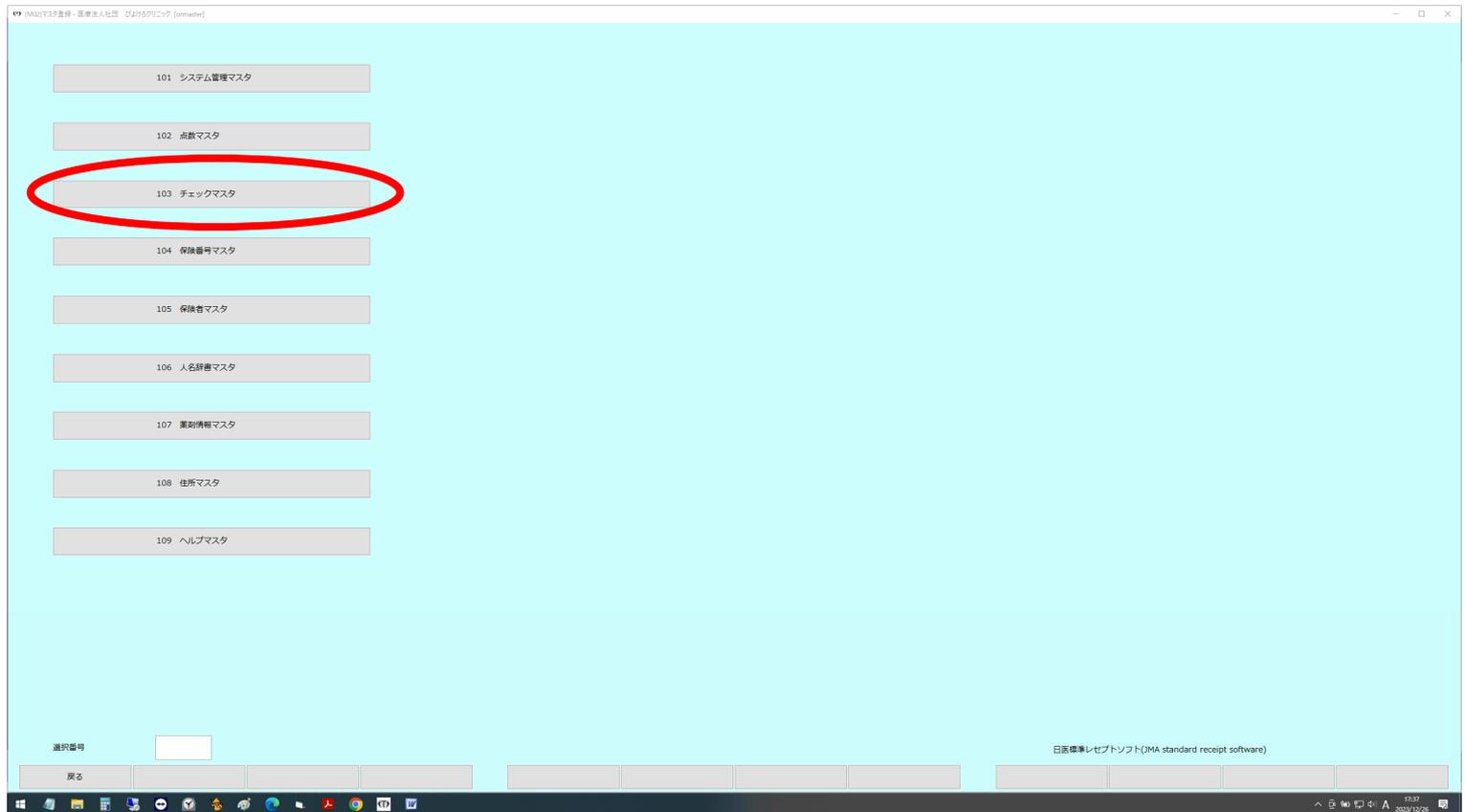


診療行為どうしの算定漏れ チェックマスタ登録手順

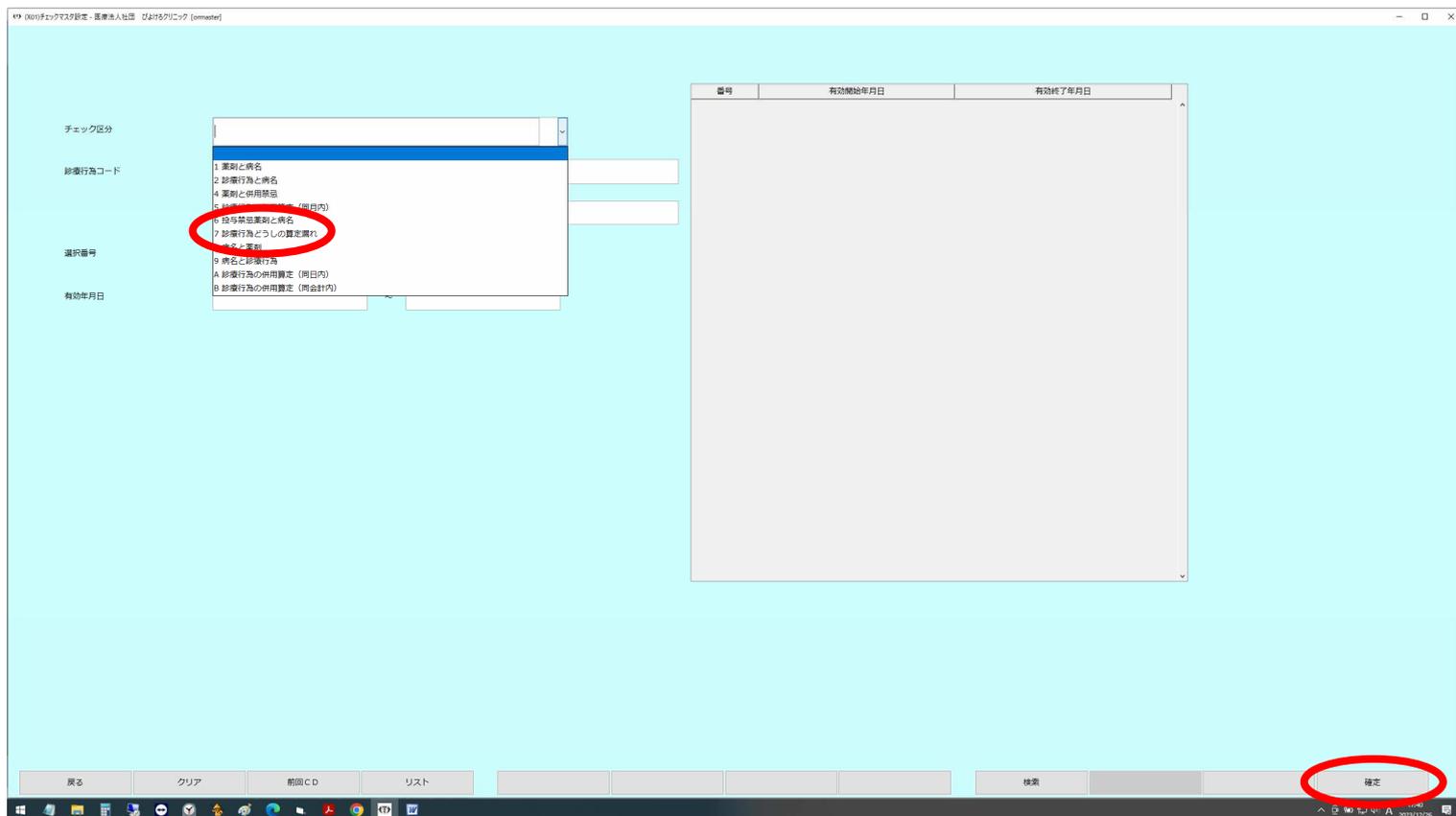
① 【91 マスタ登録】をクリックします。



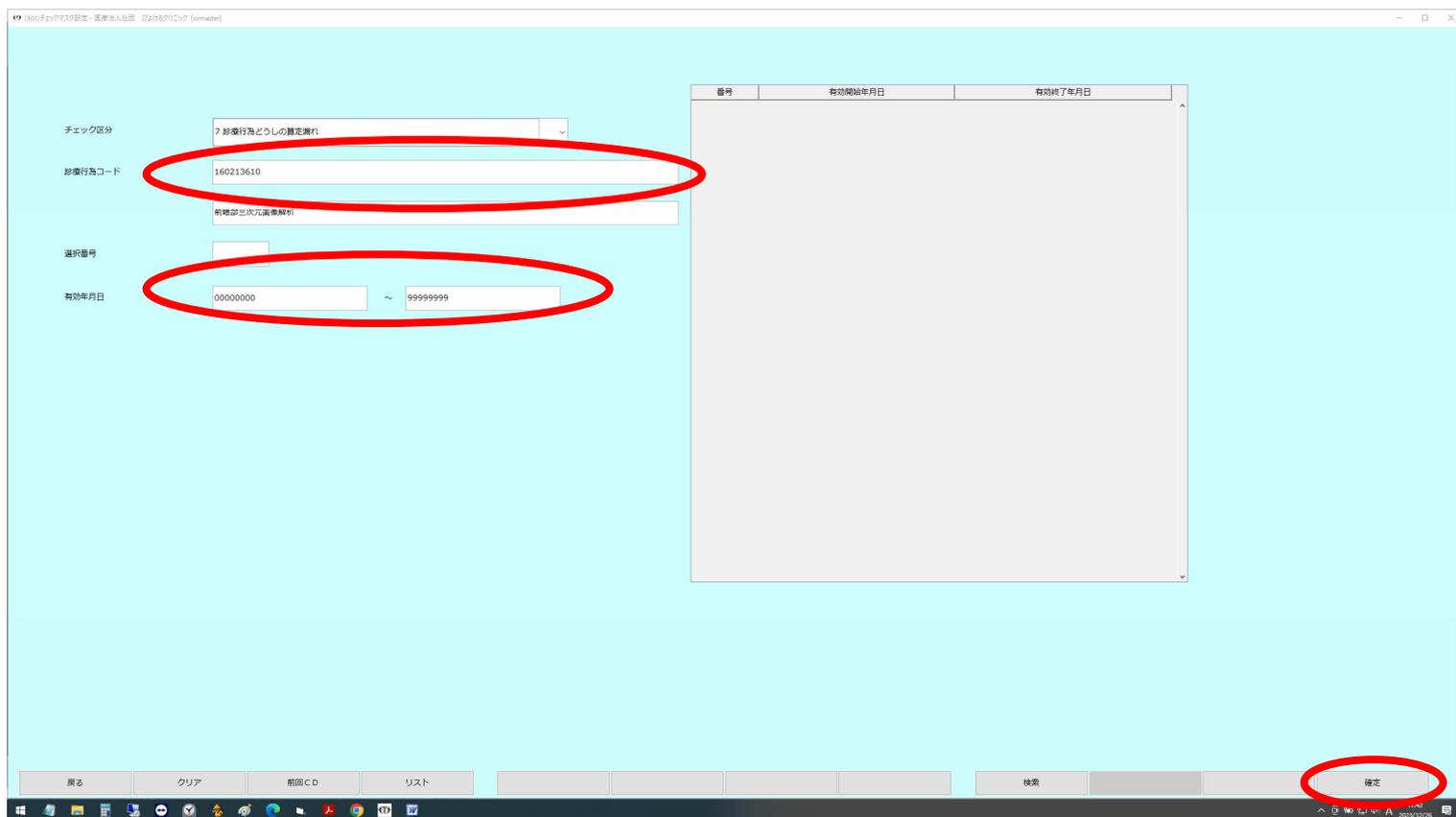
② 【チェックマスタ】をクリックします。



③ 【7 診療行為どうしの算定漏れ】をクリックします。



④ 診療行為コードを入力または診療行為名称を入力して検索を行い、有効年月日は空白のままエンターを押して0000000~9999999を表示させ、【確定】をクリックします。



- ⑤ 適用コード欄にチェック対象の診療行為コードを入力または診療行為名称を入力して検索を行い、0：同日内で算定漏れがないかチェックする、1：同月内で算定漏れがないかチェックするのいずれかを入力し、【確定】をクリックします。

この画面は、診療行為コードの入力と検索を行うためのインターフェースです。検索条件として「適用コード」欄に「00820001」が設定されています。検索結果のリストには、このコードと「このコメントがないとエラーにする」という注釈が表示されています。右側の「日/月 (0/1)」列には「0」が設定されています。下部の操作ボタン群には「戻る」、「印刷」、「確定」などのボタンがあり、「確定」ボタンが赤い円で強調されています。

- ⑥ 【41 データチェック】で、**16 診療行為どうしの算定漏れ** を **2 確認 全印刷** に設定することで、チェックすることが可能です。

この画面は「データチェック」機能のスクリーンショットです。上部には「選択番号」が「2」に設定されています。下部には患者ごとのデータチェック内容がリストアップされています。患者「野比 のび太」の記録では、保険情報の記号が未入力であることや、各種薬剤の適応病名が未入力であることが指摘されています。また、「前眼部三次元画像解析」の適応病名が未入力であることも指摘されています。この指摘行は赤い線で強調されています。患者「ウチダ テスト」の記録では、保険情報の枝番が未入力であることや、初診算定日から開始になる病名が存在しないことが指摘されています。